

1. 件 名：京都大学臨界実験装置（KUCA）の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請（軽水及び固体減速炉心用低濃縮燃料要素の製作）に関する京都大学複合原子力科学研究所とのヒアリング
2. 日 時：令和5年4月25日（火） 13時30分～15時00分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議卓A（TV会議により実施）
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門
金子安全規制調整官、島村主任安全審査官、三好技術参与
加藤上席安全審査官
 - （2）京都大学複合原子力科学研究所
教授 他2名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。
6. 配付資料
資料1：京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設〔京都大学臨界実験装置（KUCA）〕の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請書（KUCA軽水減速炉心用低濃縮燃料要素の製作）（KUCA固体減速炉心用低濃縮燃料要素の製作）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。そうしましたら定刻になりましたので、京都大学とのA C A施工部、
0:00:08	平面仕組みの方から政策のヒアリング始めたいと思います。そうしましたら資料に基づき、説明の方よろしく願いいたします。
0:00:16	はい。ありがとうございます京都大学の高橋です。それでは私たち、行いますK U C Aの低濃縮燃料要素の製作、
0:00:26	に関わる設工認申請書の
0:00:29	資料に基づきましてご説明を差し上げたいと思います。
0:00:33	まずですね前回のヒアリング、4月の6日に行われましたヒアリングにおきおいてですね質問をいただきました。
0:00:41	そちらについて一覧にまとめております。3ページ目4ページ目につきましてですね5ページ目までですね、
0:00:50	これについて質問いただいた質問をまとめさせていただきました。本日のヒアリングではですね、こちらの質問への回答ということで資料を準備させていただいております。
0:01:01	それでは質問1から順番に回答を申し上げます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:06	まず質問 1 ですが、技術基準規則第 22 条の第 2 項に関連するものでございます。
0:01:13	規則第 6 条ですね適合対象条項から除いているのであれば、
0:01:20	技術基準規則第 22 条第 2 項ですね。
0:01:23	人においてですね地震荷重を考慮しなければならないということで、これを適合性の資料に加えるということで、
0:01:33	ご質問をご指示をいただいておりますのでございます。
0:01:37	私たちのところとしてはですね節項に、すいません、設置変更承認申請書の添付書類 8 の 8-1-4 の 2 節よりですね、燃料要素の耐震重要度分類は、C であると。
0:01:50	ということになっております。
0:01:52	垂直方向のですね耐震荷重を考慮するために、自重、附加荷重を 1.24 倍したものをですね、
0:02:01	のものですね、それらが作用する、被覆材の耐力というのを比較するということでこちらを
0:02:07	適合性の資料に加えることとしております。
0:02:10	具体的には 8 ページに移りまして固体、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:14	減速炉心用の燃料につきましては、評価計算結果ですね上にございます。負荷荷重の値をですね 1.24 倍させていただきまして、
0:02:26	それと、
0:02:27	その値がですね、被覆材の耐力に比べて十分小さいであると、小さいということで、地震荷重を考慮しても、被覆材の耐力に対して十分に小さく、
0:02:38	要求事項に適合する設計というものを加えさせていただきたいと考えております。
0:02:45	京成につきましても同様の
0:02:47	生値になります。こちらにツアーの予定といいますか 1.25 倍をして体力に比べて十分小さいということを確認しておりますので、要求事項に適合する設計と、
0:02:59	ということでご説明、説明を追加したいと思っております。
0:03:05	続きまして質問に対する回答ですね。
0:03:08	11 ページ目に行きまして、まず、質問の内容なんですけども、こちらは技術基準規則の第 15 カトウです。ちょっとよろしいでしょうか。
0:03:17	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:18	一つ一つやりたいと思ひまして、①のところカラーでよろしいですか。
0:03:25	そうしましうでは一つ一つということでもず質問Gが以上になりますのでコメントよろしくお願ひいたします。はい。そして、そうしますと①の後に、何かござひますか。
0:03:37	規制庁の加藤です。
0:03:40	一つは7ページ目に、ルーその耐震箇所を考慮した場合、22日11.25倍ってあるんですけど、これ、
0:03:51	1県民要望にした理由は何でしょうか。
0:04:01	京都大学の高橋です。こちら文献に基づきましてこの対応採用させておたひておりますすみません私たち参考文献等をつけるのを失念しておりますので、
0:04:11	こちらについては、参考文献というものを付け加えたいと考えております。
0:04:18	城野カトウです。ちなみにその犯行5件っていうのはどういった内容とかを取りまとめた条件なんでしょうか。
0:04:34	すいません京都大学の伊佐です。
0:04:37	まず、Cクラスということで、耐震の地震力の算定については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:47	設置せいっていいますかどこにもですね、1.2 という値が水平衛藤荷重 ということで記載されているところがございます。
0:04:57	それですね、24 という 20%を加えるのは、これはこの前これまでの ですね
0:05:05	新規制基準の議員も 20%町の値を使うということになっておりましたの で1.24 ということで、Bクラスですと 1.36 という、ごめんなさい、 0.36 が、
0:05:17	なりますので1Gに対してそれということになりますので、地震力とし ては 0.24G ということでありますので、それで1.24 という値になって おります。
0:05:33	以上です。
0:05:34	久野カトウです。お隣だからそういう所とさせて、文献っていうのは次 葉であったりジヨクの内容であるっていう理解でよろしいんですか。
0:06:00	あ、すいません兄弟ミサワです。ちょっとすいません文献という言い方 がちょっとあまり適切じゃなかったようなんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:05	これはですねまず設置申請のところにですね、Cクラスについては1.2 C iを使うということで書いておりましたそれを用いたというところがございます。
0:06:21	すいません。これも、はい。そういうことです。聞いたことです。そうするとちょっと同権という説明がちょっと撤回ということで、
0:06:31	設方向に書いてある耐震のその岡中の算出の冊子に倣って出すと、1.24倍だっという理解でよろしいですか。
0:06:46	京都大学の高瀬おっしゃる通りですさい失礼しましたの文献といますか根拠という意味では、設置変更の申請書の中の内容になります。
0:06:56	わかりました。
0:06:58	はい。他ありますか。
0:07:02	心配。目黒。
0:07:11	ちょっと待ってくださいね。
0:11:06	町長の加藤です。
0:11:08	よろしいでしょうか。
0:11:11	はいお願いします。その辺先ほど1.5、1.2 C i 20%ってということなんですけれど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:21	どういう計算になると、1.25 になりますか。
0:11:32	はい、京大にそうです。これ確か新規制の議員のですねこの辺りのところは全部それに従ってやったと思ひまして 20%増しはこれはある意味融度ということで 20%。
0:11:45	B の場合は 20% ですので 0.3 の 20% で 0.36 というところで解析するということで地域性も対応してきたものでございます。
0:11:57	から、はい。
0:12:01	規制庁の加藤です。ごめんなさい。今出てきたそうすると、0.3 というのは何ですか。
0:12:07	それ B クラスでごめんなさいそれ B クラスです。
0:12:12	B クラスの場合は当然ですね共振しないとか、そういう別のファクターも入ってきますけれど、基本的な考え方としては 0.3。
0:12:23	A と 2 割り増しの 0.36 と。
0:12:26	いうところで新規制対応の設置申請も、設置、設置工事すべてそれに対応しているところでございます。
0:12:34	規制庁の加藤です。今 B 君。
0:12:37	今 B クラスのことを言われたわけですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:42	6.3 人、エンドで 6.36 それはわかりますと。
0:12:48	B クラスのところですね。
0:12:51	それと C は、C が 0.2 の 20% で 0.24 です。
0:12:58	5.2 の 20%。
0:13:04	はい。0.2 の 20% 増しで 0.24
0:13:08	プラス 20 が 1 かかりますので 1.24 ということになります。
0:13:19	うんうん。
0:13:22	0 件。
0:13:24	計、これはある。
0:13:31	標準標準を、せん断力係数とか、
0:13:39	全体のことですすみません、C だと 0.2 B だと 0.3 点あるのが、まず何ですか。
0:13:49	五十嵐上田です。門田さんとは今のちょっと関係ない数字で申し訳ありません今 0.3 全く関係ございません。失礼いたしました。
0:13:59	B クラスは C ですので 0.2 です。すみません。ごめんなさい。すみません。0.2 っていうのがまず何ですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:10	地震荷重ですね地震の加わる荷重として 0.2G ということでやっておりますので。はい。
0:14:23	繰り返しなりますけど今までの設工認の申請書も、新規制のときは全部そういう形でやらせていただいておりますが、
0:14:40	僕のカトウですそうすると、耐震陥る地震荷重というのは、
0:14:49	耐震 C だと、まず 0.2。
0:14:53	耐震リーダーと 0.3 というのがありますと、まずここまでやってますか。
0:14:59	この B の話はちょっと置いといてよろしいですかすみません、宮川ですから、動的解析も必要になりますので、ちょっとわかりました。
0:15:09	仕事 0.2 っていうのがありますと、
0:15:12	それに設備後 20% の上間氏要求があるので、
0:15:17	ロープに対して 20% を付加すると、0.24、はい。
0:15:24	それで、そうすると一結局はその事情に対して 1.24 倍をやればきちんと考慮した値となるよってということですね。
0:15:32	はい。その通りでございます。
0:15:35	兄弟されその通りでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:39	少々お待ちください。
0:18:11	規制庁の加藤です。すいません。接近補償に申請書のどこに書かれていますか。
0:18:29	京都大学の高橋です。地震力の算定方法ということではですね添付 8-8 ページですね。
0:18:39	土地 C + 1.27 ぐらい。
0:18:44	書いてるんですね。
0:18:47	行き配管系というところなんですが、
0:20:40	小さなカトウですすみません、接近呼称の申請書のどこに記載があるかってわかりましたか。
0:20:49	それがどっち。
0:20:52	としては 8-1-4-3 地震力の算定方法のところでページでいくと添付 8-8 になります。結局、すみません B クラス 0.2 っていうのが見つからないんですけど、
0:21:03	ごめんなさい C クラス 0.2 って言われた地震力の話が見つからないんですよ。
0:21:08	それとあと 20%増しをページ数違うと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:43	京都大学の高橋ですけども添付 8-8 ページにある新野は機器配管等の
0:21:51	せん断。
0:21:52	力係数 C0、0.2 以上ということ。
0:21:56	ではなくてですか。
0:22:13	規制庁の加藤ですすみません。そうすると C クラスはこれ C は C0 を使 うってということなんですか。
0:22:25	京都大学タカハシです。そうですね。それとかはきちんと B クラスだ と幾つだとかってというのはまとめられてないんですかね。
0:22:42	多分言われているの正しいクラスは C O C0.2 にして B クラスはこれ
0:22:50	A と C を 0.3 にしているから先ほどの
0:22:55	お話に通じてくるのかなと思っているんですけど。
0:23:02	あ、
0:23:15	あ、すみません衛藤、ちょっと確認なんですけど。
0:23:19	まずは等、
0:23:22	その C I というところですね。
0:23:26	ここが衛藤。
0:23:30	小俣発注のかぶって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:37	岩田 C I O は す い ま せ ん 確 か、こ れ が 0.2 だ と 思 う ん で す ね、ち ょ っ と す い ま せ ん そ れ で、そ う す っ と 地 震 力 そ こ ん と ころ 1、二 倍 し て、0.24、そ れ か ら、
0:23:49	B ク ラ ス に つ い て は、B ク ラ ス で す け ど 1.8、0.2 を 掛 け て、286 が さ、0.36 と。
0:23:59	い う の が 今 の 衛 藤 解 析 に な っ て ま す す い ま せ ん 私 ち ょ っ と 余 裕 と い う 20% と い う 言 い 方 を し て し ま っ た ん で す が 申 し 訳 あ り ま せ ん そ う で は な い で す す み ま せ ん。
0:24:26	規 制 庁 の カ ト ウ で す。す い ま せ ん。と で す ね、ち ょ っ と 整 理 を し て 欲 し い ん で す け れ ど、こ こ で 書 い て 検 討 発 注 は 知 事 会 て 有 賀 基 地 配 管 C ク ラ ス 1.2 C i と、そ れ で C I T M は 標 準 せん 断 力 係 数 シ ール を 0.2 倍 以 上 と し っ て い う ふ う な 形 に な っ て い ま す と。
0:24:45	ち ょ っ と こ れ ら の 情 報 か ら ラ フ 1 件 以 上 を 順 序 立 て て 説 明 し て く だ さ い っ て い う の が こ ち ら の 質 問 で す。
0:24:58	他 の 兄 弟 ミ サ ワ で す。ま ず 考 え 方 と し て は す い ま せ ん。い や 今 ご 指 摘 の 通 り で ご ざ い ま す。ち ょ っ と そ の 説 明 と い う の は、そ れ を も う 1 回 文 章 で と い う こ と で よ ろ し い で し ょ う か ね。ち ょ っ と す い ま せ ん う ま く 私 も こ の 辺 り 専 門 で は な い の で う ま く 説 明 で き な い ん で す が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:15	ただ少なくともこれを基にですね過去、新規制以降は 0.24 でやっていたとこれは間違いありませんので、
0:25:22	ちょっとそこの文章をもう一度、書き直すということで説明の文章を作るということで、今日のところはしていただけたらと思うんですがいかがでしょうか。
0:25:36	記者の加藤です毛利先生もそれで構いません。とにかくですねうちの知りたいのは 1 件 4 っていうのが設置運行承認申請書に基づいて設計できる値だということであれば、
0:25:51	設置変更承認申請書と書かれている内容、それとあと、これをここに書かれている、関係式から 1.4 というのがどのような形で導き出されるのかっていうのを、
0:26:04	きちんと後資料の方に、ごめんなさい、その説明をしていただければいいと思いますので、よろしく願いいたします。
0:26:12	はい。京田ミサワです。大変申し訳ございませんちょっと我々、今までのちょっと経緯でもこうやってこういうもんだというふうにちょっと思ってたやっていかんでその説明が十分でなくて申し訳ございません。
0:26:25	これ改めてちょっと整理した、して文章としたいと思います。申し訳ありませんでした。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:31	はい。
0:26:32	よろしく申し上げます。そうしましたら次の質問、次の②の会長の説明の方よろしく申し上げます。
0:26:44	はい姜大学の高橋ですそれでは質問にの回答ということでお話をさせていただきますまず、
0:26:51	いただきました質問 2 というものが、 についてですけれども、こちらは技術基準規則第 11 条に関連するものでございます。
0:26:59	現状の適合性の資料において燃料要素あてで扱うための保守または修理が可能であるとの規制になっていると。
0:27:06	しかしながら規則の要求は必要なツツミの機能の確認をするための試験または検査及びこれらの機能を、
0:27:13	健全に維持するための保守または修理ができるものでなければならないとあるため、燃料要素が持つべき、必要な機能とは何であるということ をまず説明すること。その上で、
0:27:24	試験または検査及びこれらの機能を健全に維持するための保守または修理に関する説明につなげるということでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:32	です。設置変更承認申請書の添付書類 8 の 8-1-3 の 2 節においてです。燃料要素は安全上の機能別、重要度分類として、
0:27:43	P S III 及び A S III に分類されております。
0:27:46	安全機能として炉心の形成及び放射性物質の閉じ込め、遮へい及び放出低減が求められております。
0:27:54	燃料要素はです。細管或いは支持フレームに充填されて使用されることから、炉心の形成のためにはです。細管或いは主事フレームに、
0:28:05	充填不能のほど、A の変形等の訴訟があってはならないと思っております。
0:28:10	またです。本生物の閉じ込め、遮へい及び放出制限のためには、療養所に有害で傷があってはならないというふうに考えております。
0:28:19	これらを受けまして 12 ページ目にございますように、適合性資料の記載をです。以下のように改めたいと思います。
0:28:29	これをです。今回淡路りさせていただいている部分というのが新たに新しく追加して記載したものでございます。このような形で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:39	適合性資料の方を修正したいと思っております。以上が質問に回答でございます。はい。ありがとうございます。ここについて確認する事項ございますか。
0:28:53	規制庁の加藤ですよろしいでしょうか。
0:28:57	高橋です。よろしく申し上げます。はい。ここでまず今回の燃料要素の安全機能としては炉心形成っていうの、そうするとと時間の遮へい
0:29:08	保守経験、この二つに分けられると、いろいろ進行性のところで1件確認なんですけれど、ここではですね、燃料要素っていうのが坂梨フレームに重点ふまほど、
0:29:20	東欧ような円形影響の損傷があってはならないっていうふうになっていて、支持フレームさや管に入れるっていうことはまずあの変形であるのに対して、強度の損傷っていうのを入れている理由って何かございますか。
0:29:37	等のその参照というのはあくまでですね、もう一つの、
0:29:43	安全機能の閉じ込め遮へい、放出低減の方に入るんだと思うんですけど、
0:29:51	上の炉心構成の方で参集を入れて、理由を教えてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:57	京都大学の高橋です。こちら記載した際にも変形も1の損傷の一部と、
0:30:04	いう形で記載しているところではございますが、
0:30:08	先ほど加藤さんからおっしゃっていただいたように、
0:30:11	損傷という言葉考えた場合はその田力といったように、そうするとい う言葉が、
0:30:19	とか遮へいの方のですね、説明の方に、いわゆる傷損傷という形にした 方が、より良いのかなというふうには思います確かにフレームに、
0:30:30	プルーム盛り入れるという意味では、変形。
0:30:33	伸びが関連するということになりますので、その総称ということについ ては、次の説明の方ですね閉じ込めの方に、
0:30:43	入れ込むのがより素直かなというふうに思います。以上です。
0:30:48	はい、ありがとうございます。何かございますか。
0:31:03	少々お待ちください。
0:34:24	規制庁の加藤ですよろしいでしょうか。
0:34:32	はい。よろしくお願いします。ここで言うですね農業用層を有害な傷。
0:34:39	けあるんですけど、有害な傷って具体的に言うところの程度の傷なこと を言うんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:06	あ、
0:35:07	京都大学の高橋ですけれども有害な傷というものですねクライテリアとしては私たちのところはですね 0.1 ミリと。
0:35:17	いうところをきちんとしております。
0:35:20	なのでこの傷が、
0:35:22	ついた場合はですねはじくというふうに考えておる次第です。
0:35:29	通常のカトウですすみません、この今言われた 0.1 ミリっていうのは、その傷の大きさなのか深さなのか言ったらどっちなんですか。
0:35:40	高瀬すいません。深さになります。
0:37:46	市長の加藤ですよろしいでしょうか。
0:37:51	またよろしく申し上げます。12 ページ目の最後なんですけれど、どう、
0:37:58	12 ページの下から 2 行目のところなんですけど、試験または検査及びこれらの機能形状に次世代残すとして言うがんの傷じゃ損傷がないことを目視により実施することが可能であるっていうふうになっていて、
0:38:14	ここの部分の変形が抜けちゃっているんですね。
0:38:17	上で言っている変形の部分。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:20	<p>ですので、こういう試験検査保守としてやるのに目視点検やるんですけど、それをやる観点としては、気づかないことと、変形がないことっていうことを書くんじゃないんですかね。</p>
0:38:35	<p>京都大学、高橋です。はい。おっしゃる通りでございます変形が抜けておりますので追記したいと思います。</p>
0:38:44	<p>はい。</p>
0:38:49	<p>正規じゃなくて損傷が抜いて、</p>
0:38:53	<p>規制庁のカトウです。よろしいでしょうかもうちょっと最終的なイメージなんですけれど先ほど変形のところ変形等の損傷の等の損傷というの はまず抜くようと。</p>
0:39:06	<p>いう形になったと思います。そうすると、今のところは、一番下のところですね、有害な基準や変形がないことを目視により実施するっていうことで損傷がないことは削除になるっていう理解でよろしいですかね。</p>
0:39:24	<p>帝京大学タカハシです。おっしゃる通りでございます。</p>
0:39:31	<p>ございます。</p>
0:39:36	<p>よろしいですか。</p>
0:39:46	<p>そうですね。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:51	乳井なんて言った方がいいです。
0:39:53	規制庁の加藤です。ちょっと細かいんですけど今の言ったですね、
0:39:58	特にはないですけど、誘導の基準や、上の部分もかけるような変形とかで すかね言葉で言うと、変形瀧川って有利な変形。
0:40:08	ちょっと前段の説明からきちんと詰めるような形で香田の方に持ってき てもらいたいと思います。
0:40:16	結構あってもらう。
0:40:22	やはり、この影響度大学の高橋です。ありがとうございます。従いまし て有害な傷や有意な変形がないことを目視により実施するというので 進めたいと思います。ありがとうございます。はい。
0:40:36	それとですね先ほど確認した有害の傷っていうのの定義、クライテリア としてはどれぐらいなんですかっていうのもお聞きしていただきたいと 思いますのでよろしくお願いいたします。
0:40:49	具体的に深さ 0.1mm ですね。
0:40:51	それを
0:40:54	次、まとめて、
0:40:58	理事会議資料もらって、ここ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:02	2回、次回のヒアリングのところを、
0:41:06	次回のヒアリングの資料の方にも反映していただくようよろしくお願いいたします。
0:41:14	京都大学高橋です。承知いたしました1同じタイミング。
0:41:19	すみません、東京大学タカハシですけれども、ちょっと質問なんですけれども的が正CDOは適合性資料のこの記載の方には、
0:41:28	その具体的な数値というのは、特に記載する必要はなく、
0:41:32	資料の方に記載すれば良いということでよろしいでしょうか。
0:41:52	規制庁の加藤です。まとめ資料の方で構いません。
0:41:58	協約タカハシです。承知いたしました。
0:42:01	規制庁の加藤です。あとすみません、先ほど言ったですね、深瀬瑠羽健一にしている公共って何かありますか。
0:42:10	はい。
0:42:19	キョウデン三沢です。えーとですねこれ正直なところですねまだ新しい燃料に対する正式なですねクライテリアをどうするかっていうのはまだ十分。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:32	検討しておりませんが、0.1というのが、多分、パンとしては0.1となっております。で、0.1とした経緯といたしましては、
0:42:42	これまで使っていたですねKUCAの、軽水の町版なんです、町場に刻印がしてあるんですねナンバリングしてありまして、
0:42:53	その深さが0.1ミリで、掘っておりました。で、それがですね一応我々としてはMACCSの深さということで考えておりました。もともと被覆材としては■■■■mmありますので、
0:43:08	十分余裕あるんですが、刻印の深さ0.1mmを基準にしよう。
0:43:14	ということで今までずっと管理してたところでございます。で、今回はですね、ほとんど圧は変わりません。答の場合はですね、■■■■mmの
0:43:25	起伏になりますが0.12で十分余裕ありますので、今のところ0.1ミリでいこうかなというふうに考えているということですということで根拠はですね、
0:43:35	かつて作っていた安倍燃料の子杭の深さというところを基にしているところでございます。以上です。
0:44:27	規制庁の加藤ですよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:32	はい。よろしくお願いします。今のお話を聞く等、11週、ごめんなさい。12ページ目で説明している。
0:44:44	重大な傷には当たらないかなと。それ上積み経験後に対して0.1mmの傷やったら、はじくんだよってという話だと思いますので有害な傷っていうよりも有意な傷ですかね。そうすると、
0:45:06	たびたびすみません兄弟ミサワです。ご指摘の通り、今の傷はですね、当然燃料にが漏れるとかそういう傷はありませんので、
0:45:16	分析の通り、有意なところが正解かもしれません。申し訳ありません。ありがとうございます。はい。それとですね先ほども宮城先生で説明していただいて、
0:45:28	0.1ミリの設定の根拠ですね要するに刻印の深さが0.12なんですっていうそういう内容も、まとめ資料に構いませんので、記載するような形でよろしくお願いいたします。
0:45:45	はい。大分タカハシです承知いたしました。他のところでも拾えますけど、ここに書いてもらいます。
0:45:53	規制庁の加藤ですすみませんその性ですね被覆税の厚みも規制するような形でよろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:08	今日加来タカハシですけどちょっとお持ちいただいていいでしょうか。
0:46:27	京都大学タカハシですすみません
0:46:30	まとめ資料の方にですね被覆材厚さ等を記入することを承知いたしました。あとですねすみません。
0:46:37	先ほどですねちょっと福崎さんの方値の方をちょっとしゃべってしまいましたのでこちらはちょっと非開示情報ということで、マスキングをお願いしたいと思います。
0:46:52	大変申し訳ございません。失礼いたしました。
0:46:57	了解しました。はい。
0:47:00	いやあ、明示的に考えるわけ。そう。
0:47:03	日比の方は、1月ぐらいの朝、
0:47:07	規制庁のカトウですすみませんちょっと確認のための地面のためにさせていただきます。今機密情報の発言がありましてそれは吉田の被覆税の厚さであると、そういう認識でよろしいでしょうか。
0:47:22	教育タカハシです。おっしゃる通りでございます。わかりました。規制庁中田です。ちょっと確認なんですけれど。
0:47:35	あれを今言った傷の深さであったり、刻印の深さっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:43	機密情報には当たらないのでしょうか。
0:47:53	京都大学の高橋です。刻印の深さ並びに傷の深さについては問題ないと思っておりますが、
0:48:03	設計上の話につきましては、非開示情報とさせていただいたと思います。
0:48:14	検査のカトウですわかりました。
0:48:19	はい。他、何かございますか。
0:48:23	よろしいですか。
0:48:27	はい。
0:48:33	はい。
0:48:34	規制庁の加藤です。そうしましたら質問のある3の説明の方よろしくお願ひします。
0:48:42	はい、承知いたしました影響大学のタカハシで続きまして質問さんに対する回答をお話しさせていただきます。
0:48:48	質問3につきましては規則第21条第1項第3号に関連するものでございまして、
0:48:54	燃料要素に影響を与える環境条件としての調査があると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:58	温度上昇が大きくないことから大丈夫というような説明をしているところでございますが、
0:49:04	この影響を受けるものとはどの程度なのかと、それを説明してくださいということですね。
0:49:09	またですねその機能を発揮することができるものであることとあるのもその機能とは何であるかということ、あわせて説明しなさいということでございます。
0:49:18	私その辺設置変更承認申請書ですね添付書類 10 のですね 10-1-1 節におきまして、
0:49:25	運転時の異常な過渡変化時において、燃料の許容設計委員会を超えることなく事態が収束される設計であることの判断基準として、燃料の最高温度が 400 度を超えないこととしております。
0:49:39	設置変更承認申請書の添付書類 8 の 8-1-3 の 2 節において、燃料要素は安全上の機能別、重要な分類として、P S T 及び F - I I I に分類されていると。
0:49:51	安全機能として、炉心の形成及び生物の閉じ込め者及び f 制限を求めるということで先ほど質問 2 と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	同じような内容になりますが、
0:50:04	すいません、炉心の形成のためには、再開はフレームに重点フローの方の有意な変形が生じてはならないということですね。
0:50:13	またですね本生物の閉じ込め遮へい及び放出低減のためには、変形に伴い臨場要するに傷が生じては、リリースは機能発揮できなくなると。
0:50:24	いうことで、
0:50:25	適合性資料の記載はですね。
0:50:28	す。こちらに示しました通りに、
0:50:32	変更させていただきたいというふうに考えております。以上質問3の回答であります。
0:50:38	はい、ありがとうございます。何かございますか。
0:50:46	小さなカトウですよろしいでしょうか、A P 4。
0:50:52	14 ページ目のところにですね一番上のポツですけれど、等を判断基準として燃料の最高の 400 \$ を超えないこととしているっていうふうにあるんですけれど、
0:51:07	400 度っていうのはどういった温度になるか説明の方よろしくお願ひします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:15	去年、
0:51:17	逆のタカハシですけれども燃料の利用新税の部分のですねぶりスター発生温度というのがですね 500 から 600 だということで、
0:51:26	これまでデータが出ているところでございますこちらに裕度を持たせて 400 度としている。
0:51:32	ということでございますがこちらより覆土等は私たちのところの K r の
0:51:37	燃料の設置工事等でも基準としている値ということになります。以上です。
0:51:45	はいありがとうございます。今言われた情報網等を資料の方に反映するようお願いいたします。
0:52:01	少々お待ちください。
0:53:22	規制庁のカトウです。続きまして質問④の回答の方よろしく申し上げます。
0:53:32	今日土肥藤澤です。大変申し訳ありませんちょっと確認させていただきたいんですが、先ほどですね 400 のブリストはっていうものなんですけど、これ設置水準ところにですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:44	明確に書いておりました、添付 10-2 ページ目の一番上のところでですね、燃料のプリスタが発生しないことということで、400 トンの理由が記載されておりますので、
0:53:56	もうこれで十分かなというふうに思ったところでございますがいかがでしょうか。
0:54:02	町長の加藤です。えーとですね補足、まとめ資料の中で、きちんと質問に対して等を県を踏まえた上で説明の方をお願いしたいというふうに考えておりました、
0:54:18	確かに設置変更承認申請書を私も見ているのでそれは確認をしております。ですが、この今回のヒアリングの質問回答としての資料の中にそういう内容の説明がなかったので、
0:54:32	この資料の中に反映してくださいというのが私のお願いなんですけど、なかなか医療は難しいでしょうか。
0:54:43	京都大学の高橋です。承知いたしました資料の資料に対する赤城の質問に対する回答ということでその 400 \$ 根拠を含めて、記載したいと思っております。ありがとうございます。
0:54:56	よろしく申し上げます。そうしましたら質問④の回答の方よろしく申し上げます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:04	はい京都大学の高橋です続きまして質問 4 に対する回答でございます。
0:55:10	質問 4 ですねにつきましては規則第 22 条第 1 項に関連するものでございます。
0:55:16	まず、1 括弧として (1) としてですね最大熱出力が 100 個後であることから保守の影響が低いということであるが、説明が不足していると、最大出力が低いため F P の蓄積が少なくそのための放射線の影響が低いという説明に変更し、
0:55:33	適合性上部の説明に追加すること。
0:55:36	2 (2) として、必要な物理的及び貨物質を保持するものにならないと要求されているので、保持すべき物理教育は適切選出は何かを説明すること。
0:55:48	(3) として、梁要素等を再稼働で有意な総合災害等の説明であるが、温度上昇がないため防除が起らず、燃料要素と生管との間のクリアランスで吸収できるとのことであればその分で、
0:56:01	まとめ資料で説明するとすることというふうに、
0:56:05	コメントをいただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:07	です。ね経営CEOはです。ね最大出力が100ワットであり、燃料代に核分裂生成物は病死が筑西されるということが、
0:56:16	設置申請書の添付88-1の2節に記載されておりまして、放射線の影響が低いということでございます。
0:56:24	利用するにはです。ねプールエリアの形成及び構成物質の閉じ込め、
0:56:30	弊社及び保守制限の機能が求められていることからです。ね、物理的な必要な物理的性質とは形状維持であり、
0:56:38	必要な科学的性質とは、
0:56:40	対象、耐腐食性であるということでございます。
0:56:44	設備の承認申請書の添付書類10に示されるように、温度上昇はわずかでありますため、
0:56:51	定量要するに距離で膨張は生じません。
0:56:54	従いまして膨張による変形は、
0:56:57	細管と燃料要素の繰り合わせで
0:57:02	吸収されるということで、こちらも詰め資料で説明したいと思います。
0:57:07	これを受けまして、適合性資料の記載をです。ね、以下のように改めたいと思います。次が今回追加をさせていただいた部分になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:18	18 ページ目 19 ページ目それぞれ軽水固体の説明を加えさせていただきますと思います。以上です。
0:57:32	はい、ありがとうございます。何かございますか。
0:57:37	少々お待ちください。
1:03:12	現状 4、
1:03:42	規制庁カトウですよろしいでしょうか。
1:03:48	はい。よろしく申し上げます。ここで言っている、ほぼ、放射線の影響が低くってというのはわかっているんですけど、この放射線の永久というのは、
1:04:01	今回物理的性質の形状維持の方に効くのか、それとも化学的性質の耐腐食性の方に効くのかでいうとどちらになりますか。
1:04:18	京都大学の高橋ですけどきくといいますのは、わかり放射線が強い場合、その形状が変形する方に効くのか。
1:04:29	腐食性が下がる腐食するという方で効くかというようなことでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:34	石澤カトウですその通りで、藤戸部の耐腐食性の方の話でいうと放射化してポロポロになっていくのかなっていうのが予想がつくんですけど、ここで言う 90 時、
1:04:52	放射線が高くなったときに、この形状維持の方にはこういった現象として効いてくるのかっていうのがちょっと想定できなかったの確認したいという趣旨です。
1:05:06	許諾タカハシですけどまずは腐食の方に影響があって、要するに材料の方に組成の方に影響があって、それでぼろぼろになっ塗ったりすると。
1:05:20	物理的なところに影響が与えられると、そういった所かと思います。
1:05:29	うーん。
1:05:34	少々お待ちください。
1:12:04	規制庁の加藤ですよろしいでしょうか。
1:12:08	はい。よろしくお願いします。あとちょっと 15 ページ目の 21 行目から 20 名のところがですねちょっとなかなかスッと入ってこないというところで今ちょっと話し合っていたんですけど、
1:12:23	ここでは最大の出力 100 ワットであり、F P の蓄積が少ないため放射線の影響が低くっていうふうになっていますと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:33	それで、ちょっと説明していただきたく次回、次回でも構わないので説明していただきたいのが、このF Pがたまると。
1:12:45	燃料予想に対してどういう影響があるのかっていうのをまず説明してもらえませんか。
1:13:06	影響大学の高橋ですF Pの蓄積が、
1:13:12	林業のに対してどういう影響があるかということですかね。要するに放射性影響、営業に対しての放射性影響ということでよろしいでしょうか。
1:13:25	あ、規制庁は勝手ですこの辺、質問の趣旨がちょっとよくわからないんですけれどちょっと繰り返して言うと、
1:13:34	が蓄積されると、燃料要素にどういった影響があるんですかっていうのが質問になります。
1:13:50	あ、京都大学の三澤です。
1:13:53	すいませんそれはどういうことなんでしょうかすみませんこれ原子力の講義じゃないんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:59	燃料の講義をやってるわけではないですから、このくらいのことはすいませんもう我々としたら、研究炉の中では常識なことだというふうに思ってたんですが、
1:14:09	そこまで説明しないと駄目なんでしょうか、ちょっとはっきり言わせていただきますが、
1:14:20	はいすみません、ちょっと頭の頭に入らないので、素人で申し訳ございませんけど、全部、ご説明をいただく必要はないと思いますけど、そんなにちょっとメカニズムが頭に入ってこないんですね。
1:14:33	もうちょっと、基本的な三澤先生の立場から言うと基本的なことかもしれませんが、
1:14:41	メカニズムがわかると、すんなりいきます例えばF Pの蓄積が多くなると、今回の被覆材が膨らむってことを言いたいんでしょうかそれとも、
1:14:55	年齢、なかなか燃料そのものですね、燃料そのものの構成が崩れると言ってるんでしょうか。
1:15:03	F Pの蓄積が多くなると何に影響が出てくるっていう説明なのかわかんないって言うことなんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:11	京大の伊佐です。設置変更設置性の審査の段階でも、燃料の中でどのぐらいスウェリングするとか、
1:15:23	それからどのぐらいのF P 保持能力があるかっていうのについては、このぐらいですよどのぐらいセーリングしますよということを説明させていただいているところでございますが、
1:15:32	そこで、私としてはもうそこで説明は終わってるかなというふうに思ったんですが、わかりました。あれですね、のF P が蓄積することによって、
1:15:43	燃料の中身の問題で波がスウェリングするっていうそういう古藤なんですねここで言ってるのは、
1:15:51	これまず一つはするんです。それ香田美沙。
1:15:56	共同印刷です生理医療についてはですね計算、最大このぐらいスウェリングしますよというのは、設置申請のですね多分まとめ資料にあると思いますが、
1:16:07	そこで説明させていただいております。
1:16:09	その中で、K C S 100 ワットそれからそれを最大出力で、何十年間使ったときにどのぐらいで物理的に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:19	物理的に批判これですね、そういうのが大丈夫だというところで、まずは物理的には大丈夫だということで、ご説明させていただいております。もしあれでしたらその時の資料をそのまま、
1:16:33	ここに添付するんでも結構なんですけどそれでもよろしいでしょうか。構いません。どういうロジックなのかが確認できればそれはもう何も疑っているわけではなくて、
1:16:43	ここでは何のご説明がされてんのかなっていうのが確認されたかったんですけど、このF Pが蓄積する。はい。
1:16:50	だからこれは放射線の影響、資料見てわかることですね。
1:16:56	はい。すみません、放射線の影響っていうか、F Pの影響も含めてですね、なんですけど、放射性についてはですね、アルミニウムを当然被覆材使っておりますので、
1:17:09	アルミニウムの被覆材の対どのくらいもつかというのについてはこれは当然他の原子炉でも山ほど実績もありますE R Cなんか、
1:17:19	50%ぐらいまでにちょうどやるわけですね時 15-数。
1:17:24	6乗とか7乗の名称でしかいかないのでそれに比べて十分低いと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:29	<p>ということで対応できるというふうに考えております。また化け学的ということ、なかなか難しいところではあるんですが、普通の爆薬的といったときには、例えば、</p>
1:17:41	<p>被覆材等が例えば不足をする、それから、なんかこう腐食性の持つもの に変わるとかですね、そういうことがやっぱり計画的というふうに考え られるところでございますが、</p>
1:17:55	<p>今のところですね今のところ、これまでの業務経験等からですね、その 辺りのところは十分耐えられるということ</p>
1:18:05	<p>説明させていただいたつもりだったんですが、必要であればそのあたり の資料をですね添付するという形でちょっとコピーしているという形で 次回以降の資料にさせていただきたいと思いますがそれでよろしいでし ょうか。</p>
1:18:19	<p>はい、わかりました。ありがとうございます 個別統計水かな、両方を同 様の説明がされていると思いますので、両方とも添付をいただければと 思います。</p>
1:18:31	<p>はい。はい、ありがとうございます。</p>
1:18:41	<p>英語についてはよろしいですかね。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:48	少々お待ちください。
1:20:20	それからパート数をそうしましたら質問のある方の説明の方よろしくお願ひいたします。
1:20:30	はい兵頭大学の高橋ですけれどもそれは質問後に映させ、移らせていただきます。
1:20:36	質問につきましてはですね規則 26 条に関連するものでございます。
1:20:43	数値解析に関する質問と申しますかコメントをいただいているものでございます。
1:20:51	ちょっと時間の都合上割愛させていただきますが、まずは他状況ということで、
1:20:57	実際の燃料予想の保管状況というところで保管場所をですね、
1:21:02	あとですね彫像座のですね概略等を入れて説明を差し上げているところでございます。
1:21:10	燃料ランナーについてはその数等をお示しし、
1:21:15	A I I、貯蔵能力が十分にあるということを説明させていただいているところでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:22	なおですね燃料要素の撤去は、コードスプール等で量産は撤去してですねブランドで利用する保有量はゼロということもあわせて説明をしております。
1:21:33	あとですね燃料所等の寸法ですねを示しております軽水小谷友利坪内示した上で、
1:21:43	あとはそこに入りますバードケージの構造ですね。
1:21:48	というものをお示しさせていただいているものでございます。こちら固体統計水の、
1:21:55	構造図ということになりますこちら 24 ページですね、25 ページ移りましてこれらを受けた受けて計算モデル、
1:22:04	あと、
1:22:05	どういった計算モデルを作ったかというところで計算モデルですね、の、
1:22:12	ご説明を差し上げているところでございます。
1:22:17	26 ページに移りましてこの計算モデルを用いて実際に行った計算結果を示しているところです。
1:22:25	まず初めに実際漏洩量燃料貯蔵等に近い構成において、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:31	実効増倍率計算をいたしました。
1:22:34	あとですね空気中の中ですね湿度をですね、ある程度変化をさせまして、さらにトリウム貯蔵庫というのを最大に隣接した状況というのを想定して、
1:22:48	計算を行っております。固体係数ともに、とても低い実効増倍率ですね、になっております。
1:22:58	領域創造時というのを想定した場合もですねクライテリアの 0.95 に比べて、もう桁が全然違う値になってますので、十分、実際に、次のところは十分小さい値であるということになります。
1:23:12	続いてですね燃料室に、全体に広げた場合というのを想定して計算をしてるんですが、
1:23:24	条件につきましてはある程度こうですね量休憩に近い形にすると実効増倍率が上がるということで今回私たちがあのようなところのバードゲージでより休憩に近いような、
1:23:38	形にをしています。
1:23:41	良い計算を行ったところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:44	<p>ここにお示ししている実効増倍率になっているというものでございます。こちらも値としては非常に低い値ですね、になっているものでございます。</p>
1:23:56	<p>最後ですねの設置変更申請設置変更のところにも記載ありますように水没させた場合どうなるかということでより、より保守的な、</p>
1:24:06	<p>状況で無限に配列した場合どうなるかということで計算を行っておりますが、それがこちらの値になります。実際にはこんな事を郡永大といえますか起こせばいいというふうに思っているところでありますが、</p>
1:24:20	<p>一方、かなり厳しい条件にして、このような形になるということで、住み着い物の無限配列条件においても、クライテリアに比べて十分に小さい値であるということでございます。以上です。</p>
1:24:35	<p>実はカトウです。ちょっと確認なんですけれど予定だと 15 時までという形になっておりますが休日の十時以降、ご都合の方はいかがなんでしょうか。</p>
1:24:51	<p>京都大学の方は安保でございません。</p>
1:24:54	<p>わかりましたそうしましたら続けさせていただきます。ここについて確認したいことございますか。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:04	私のこれ言っちゃっていいですか。まずバーツと言っちゃいます。
1:25:08	規制庁の加藤ですよろしいでしょうか。
1:25:11	えっとですね 24 ページ目もうまでのトリウム貯蔵構造についてなんですけど、今日ここの中の設置予定となっております、ちょっと将来のことが書かれていますと、
1:25:26	それでそっちの方がまだ設工認取られていないと思いますので、まず現状を設置している状況を、
1:25:36	ここに配慮していただきたいと思うんですけど、いかがですか。
1:25:43	極力タカハシです。承知しました
1:25:47	設置予定と書いてあるところの現状のものということで記載を改めたいと思います。
1:25:53	所長の加藤です。そうすると、ロジウムについてもこの部屋の中にあるということで、年目の解析の結果とかにも効いてくると思いますので、
1:26:08	終わりに置いたかという鳥居との情報っていうのは全然ないんですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:13	例えば浦和気の予想でインベントDとかの補正とか密度等ですね、できると思うんですけどそういう情報が一切ないので、まずそれらを入れていただきたいと思います。それがまず1点目でございます。
1:26:28	それと次に同じく22ページ目のですね、このこの部屋にある江藤を燃料貯蔵と岡部なんですけれども、
1:26:42	ここでは数になっていますが、設置されている数から考えるとちょっと数が上がらないねというふうに考えておりました、それはあれですか。
1:26:54	ここに書かれているサイドの数っていうのは、接続承認とっている数であって、設置している数とは若干違うっていう理解でよろしいですか。
1:27:12	京都大学の高橋ですけれども、設置変更承認申請書の数と、おっしゃる通り設備交渉についての
1:27:24	フロー持てることができる数と、あと実際の数ということになりますので若干の違いが出ております。
1:27:31	院長の加藤です。そうしましたらですねこの最大の数については、ちょっと補足してですね、実は設置の承認書で等を設置していいよっていうふうな数だということを記載願います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:48	それと大津ギイ二つちょっとまとめて言っちゃいますがー、21 ページ目にですね前回内側伝えた質問も、
1:28:00	(1) から (4) という形に書かれていると思うんですけど、私が確認するかぎ括弧 2 と (4) については説明がなされていないというふうに考えていますが、いかがですか。
1:28:27	京都大学の高橋ですけれども (4) につきましてはすいません抜けておりましたのでこちらは追記したいと思います。
1:28:36	(2) について解析の考え方ということで
1:28:42	ご説明をご説明いたしますが資料の方に反映していたつもりではあるんですけども今口頭で申しあげましたような、
1:28:51	説明というものが、やはりちょっと不足しているかなというふうには思っておる次第です。
1:28:58	隔離雇用を考慮した、その場所の考え方とかですね、
1:29:05	話し合い境界をどこに設定するのか等ですねちょっと説明の詳細が確かにちょっと不足しているかなというふうに思っておりますので、
1:29:15	そこは併せて追記をさせていただきたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:21	審査のカトウですのため言っておきますかこの解決条件じゃ駄目だよって言っているわけではなくて、この開式の設定条件、どういう考えに基づきやっているのかがわからないという趣旨でございます。
1:29:37	例えばもう設置しているのはこんな感じなんだけど、保守的に今年度やったとしても、評価としてこんな低い値なんですよっていうものも、理屈が共同で私意図を持っていて、そこまでの最初の前提条件がわからないからこういう質問をしているわけですので、ちょっと考え方その考え方に基づいて、
1:29:57	としてこうしている、今回の評価結果としてこれでいいんだっていうふうな形で示していただけるとと思います。
1:30:06	共役タカハシです。承知いたしました。ありがとうございます。
1:30:11	他はございますか。
1:30:15	規制庁兼子です。今の（２）と（４）の抜けの話なんですけど、規制庁に出してくれて誰もチェックしてないですか。説明不足っていうのはある程度、
1:30:26	許容できるかもしれんけどこの質問が抜けてるっていうのは、この資料提出にあたってのチェック食う改正に何かしら改善点があるのではないかとわれちゃうんですけど、それに対して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:38	どうお考えですか。
1:30:45	京都大学の高橋ですけれども (2) についてはすみません私たちのところが十分できているものかと思っておりますすみませんこちらは、
1:30:56	追記をしたいと思います (4) につきましては、
1:31:01	D棟、
1:31:04	ちょっと関係者のところの確認不足になっておりましたので、
1:31:09	年以降、ちょっとチェック体制ですねもう少し強化して確認した上での提出をしたいと思います。
1:31:18	はい。すみませんちょっとお待ちください。
1:31:47	あ、失礼いたしました兄弟がミサワです。今金子様から言われたですね、そのところの確認が抜けていたというところ、チェック体制というところはですね、
1:31:58	今我々の体制といたしましては、今日参加している3名それから、
1:32:05	他にですね経営支援の関係の担当者というのがいまして、ワーキングありまして、そちらで確認していたところでございますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:15	そこのちょっとチェックが十分でなかったというところかと思います。 な、すいません私のちょっとナンバーで言え原子個数藤田等については ですね、以前のちょっと資料に、
1:32:27	だとちょっと思ってしまったものですからちょっと私もうっかりしてしま まいまして、大変申し訳ございません。今後こういうことがないように ですねすいませんが、十分に気をつけて、しっかりとし、資料を作っ て、
1:32:39	我々としてもですねとにかく、本当はしっかり早く進めなければいけな いのに、我々のチェック不足でそういうふうになってしまって、
1:32:50	ちょっとそれは大変話賛成しております。大変申し訳ありません
1:32:54	この3名プラスアルファでしっかりと確認したいと思いますのでよろし くお願いします。どうもすいません。
1:33:00	はいよろしくお願いします。
1:33:11	他よろしいでしょうか。聞くよ。
1:33:19	これを売ってからやった方がいいんじゃないかなって思ったんです。い や、私は規則。
1:33:28	規制庁金子です。衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:31	マスクングに関する話なので、お答えはこの段階では不要なのでちょっと話だけ聞いてください。資料の 22 ページ。
1:33:47	書いてある実際の燃料要素の保管状況って書いてあるところの一つ目のポツに、マスクングがあります。この場所については、適切なのかわかっていうのを、
1:34:02	ちょっとお考えいただいた方がいいかなと思っております。大変結構ですよ。考えておりますので、ちょっと関係者集まってですね、
1:34:13	適切かどうかというのを考えていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:34:23	共役タカハシつ承知いたしました。はい。以上です。
1:34:28	はい。
1:34:30	こちらからはとなりますが京都大学の方から何かございますか。
1:34:38	影響力は特にございません。
1:34:41	はい、じゃあよろしいですかね。そうしましたら本日のヒアリング以上としたいと思います。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。